

平成 29 年 10 月 27 日(金曜日)



(発信者)
野々市市 秘書広報課 広報広聴係
電話番号 076-227-6056
FAX 番号 076-227-6190
Mail hisho@city.nonoichi.lg.jp
HP <http://www.city.nonoichi.lg.jp>

国際アニメーション・デー 2017 in 野々市

このことについて、下記のとおりお知らせします。

記

- 日 時 平成 29 年 11 月 16 日 (土) 18 : 30 ~ 20 : 55 (開場 : 18 : 15)
- 場 所 野々市市情報交流館カメラア ホール椿
- 解 説 木下小夜子氏 (アニメーション作家、大阪芸術大学客員教授、
広島国際アニメーションフェスティバル・フェスティバルディレクター)
- 参加費 無料 (事前申し込み必要)
- 趣旨

10 月 28 日は、フランスのエミール・レイノーが、1892 年、パリで自ら発明したテアトル・オプティック (視覚劇場) を用いて、世界で初めてアニメーションを一般公開した日と言われており、国際アニメーションフィルム協会は、アニメーションアートの普及と発展を目的として、この記念すべき 10 月 28 日を「国際アニメーション・デー」と定め、2002 年から、毎年 10 月 28 日およびその前後に世界中で同時にアニメーションの催しを行なう企画を展開している。

今年、日本では、京都・野々市・広島の 3 都市で開催。野々市市では昨年に引き続き第 3 回目の開催となる。当日は、世界 4 大アニメーション大会の一つである「広島国際アニメーションフェスティバル」の受賞作品やポーランドのアニメーションを、木下小夜子さん(広島国際アニメーションフェスティバルのディレクター)の解説付きで上映する。多彩なアニメーション作品に触れることで、言語を越えて伝わる力、アニメーションの多種多様な表現に触れ、メディア芸術に触れる層の拡大、充実を図り、豊かな感性を育む機会とする。

当該イベントの告知に加え、金城大学短期大学部学生のアニメーション作品及びカメラアで継続して実施しているののいちデジタルパラパラまんがコンテストの優秀作品を、野々市市役所エントランスディスプレイで紹介する予定(期間 : 11 月 10 日(金) ~ 16 日(木))。

- 内容 <http://camellia.nono1.jp/2017/10/17/animationday/>
18 : 30 ~ 19 : 40 上映「ポーランドのアニメーション」
19 : 50 ~ 20 : 55 上映「世界のアニメーション-広島国際アニメーションフェスティバル受賞作より」
- 主 催 (公財) 野々市市情報文化振興財団
国際アニメーションフィルム協会日本支部(ASIFA-JAPAN)

★木下小夜子さんプロフィール

虫プロダクションを経て、1969 年、(株)スタジオロータス入社。以来、国際的に、アニメーション・メディアを基軸とした制作・開発・教育・振興等、幅広い事業・活動を展開し、その仕事はアニメーションのみならず、ドキュメンタリーやフィクションを含む映像分野全般に及ぶ。2006 年 ~ 2009 年、ASIFA 会長。現在、ASIFA 副会長、ASIFA-JAPAN 会長、広島国際アニメーションフェスティバルディレクター、日本アニメーション学会 (JSAS) 顧問、大阪芸術大学客員教授。

お問い合わせ先

野々市市情報交流館カメラア 企画担当 松田尚子 TEL 227-6200 <http://nono1.jp/>